

# 知らないと損する情報



## 燃料の保管トラブルについて (ガソリン・混合ガソリン)

ご不明な点はお問合せください!  
1級農業機械整備士6名  
除草剤・農薬・肥料販売  
修理が大好きな農機店  
㈱勝井農機 ☎(0745)44-2881

### その①燃料の劣化と結露

ご存知でしょうか? ガソリンが劣化・腐食することを!!



ガソリンは置かれた環境にもよりますが、**高温・多湿・長期放置**により**激しく劣化**します。保管用のタンクに直接水が入ってなくても水が発生することがあります。それが「**結露**」です。もし結露が発生したものやサビが混入したガソリンや混合ガソリンを機械に投入するとトラブルに直結します。

ある日草刈機の調子が悪くて見てもらったら、燃料に水が混ざっていたと言われたんだけどどういこと?



仮にエンジンはかかってもダメージが蓄積されていくケースもあります  
**機械にとっては最悪の一途**



**トラブル事例**  
実際に機械のタンクから出てきたもの



**意外と多いこんなケース**  
夏場の高温時にトラックの上に放置した携行缶が急な雨や外気温の急な変化で、短時間でタンク内に結露(水)が発生することもあります。

### その②知らないで大損!!

もしかしてガソリンや混合ガソリンを「**除草剤の空容器**」や「**灯油タンク**」「**ペットボトル**」に入れて保管していませんか?



ペットボトルや灯油タンクにガソリンを入れておくと内部が溶け出し、ガソリンと混ざってしまいます。それら不良燃料を入れて、機械が動いてしまうとエンジン内部に深刻なダメージを残してしまいます。



**混合ガソリンを作る場合は専用容器で作り、ガソリン専用の携行缶で保管するようにしましょう!**



**必ずこれらを使用**

**メカニック経験談**  
こうした不良燃料は、目で見ても非常に分かりにくく、不調の原因がなかなかつかめないこともあります。たかだか燃料のトラブルでも非常に高くつく恐れがあります。



### 不良燃料・劣化燃料を入れて動いていたエンジン(刈払機)内部やキャブレタ内部 ※高額修理になります



エンジンシリンダー内部に異常



エンジンピストンに異常



マフラー内にカーボンや不純物



キャブレタ内部に不純物付着

「このエンジンは最初から調子が悪かった運悪く出来の悪いエンジンに当たってしまった」



たまにお客様から、このような話を聞くことがあります。現在のエンジンはほとんどがロボットや精密工作機械で作られており、個体差はほとんどないと言っても過言ではありません。**実は燃料に原因**があることがほとんどです。



結露が発生し、水が混ざった燃料は捨てるしかありません。ガソリン(混合ガソリン)は買いだめをせずになるべく必要な量だけを用意しましょう。余ったガソリンは自動車やバイクに入れて使い切りましょう。



また携行缶内に、結露(水)が発生した場合に気をつけないといけないのが「**サビ**」の発生です。携行缶の中にサビが発生していないか点検しましょう。(サビがひどい場合はガソリン携行缶の買い替えをオススメします)



# ガソリンは腐食するんです！👉ご存知ですか？ガソリンは、「劣化」「腐食」が進むんですよ！

## 新しいガソリン



薄ピンク色

## 長期放置燃料 (劣化ガソリン)



**使っちゃダメ!!**

赤茶色に変色  
2ヵ月以上放置

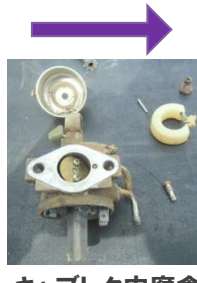
実際は燃料タンクや保管容器に入っていると、なかなか気付けないことが多いので注意しましょう。ガソリンは、**購入後2ヵ月以内**には使い切りましょう！（特に夏場）

**重要!**



## ①管理機・一部の田植機の場合 (ガソリン)

### キャブレター等 (気化器)



キャブレター内腐食

### キャブレター内ガソリン排出レバー



燃料コック「閉」

実に管理機の修理の90%は「**キャブレター内のガソリン腐食詰り**や**燃料不良**」なんですよ



燃料コックを開いて、キャブレターガソリン排出レバーを引っ張って、キャブレター内部のガソリンを排出しきってから保管して下さい。（※排出レバー以外に排出用ネジをゆるめてガソリンを排出するタイプもあります）  
**※これを怠ると翌年、キャブレター内ガソリン腐食詰まりのトラブルの原因となります。**

## ②ポンプの場合 (ガソリン)



キャブレター内ガソリン排出ネジ



燃料コックを閉じてからガソリンを排出する

燃料コックを閉じてキャブレターガソリン排出ネジをゆるめてキャブレター内部のガソリンを排出しきってから保管して下さい。

### 注意

一部小型のポンプは2サイクルエンジン(混合ガソリン)を使用しています。その場合は下の③刈払機④チェーンソー等を参考にして、混合ガソリンを排出してから保管して下さい。

## ③刈払機等の場合 (混合ガソリン)



キャブレター



ダイヤフラムの硬化



燃料フィルター詰まり発生

しばらく使用しない時は



**これ絶対に!!**

燃料タンクを逆さにして燃料(混合ガソリン)を排出してタンクが空の状態エンジン始動してから(※スタータを何回か引っ張るだけで良い)つまり…  
**ガス欠状態で保管する**

## ④チェーンソー・背負動噴等の場合 (混合ガソリン)



刈払機と同様に燃料タンクキャップを外し、機械を逆さにして燃料を排出する。それからエンジン始動して(※スタータを何回か引っ張るだけで良い)中に残った燃料を完全に使い切ってから(ガス欠状態)保管する**※燃料が入ったまま放置しないこと**

## ～普段お勤めで時間のないお客様へご案内～

当社では電話以外に「メール」での修理依頼も承っております。また農薬や除草剤の販売やアドバイスも致しておりますので、お気軽にお問い合わせ下さい

[toiawase@katsuinouki.com](mailto:toiawase@katsuinouki.com)

※必ず件名にご用件を記してください(迷惑メールと区別するためです)

## SNSやってます!

ちょっとずつ、いろいろと発信しています! 良かったら覗いてみてくださいね!

